

タイ国会「デジタル国会開発5カ年計画（2018-2022年度）」

（2021年改訂版）

エグゼクティブサマリ

現在、世界の国々が経済社会成長の実現に向けて、新しい知識を作り出し、その知識を効率的に活用し、経済・社会のデジタル変革を確実に進めています。各地がビッグデータ解析とともに、社会的（ソーシャル）ネットワーク（SNS）、モバイルコンピューター（携帯型の端末と携帯電話など）、クラウドコンピューティング、情報技術、特にインターネット技術などの利用により、デジタル経済に変化しています。情報技術は世界の経済発展推進に重要な役割を果たしています。それを背景に、タイは意義のある変化に直面しているのです。この変化に適応するためには多くの機関が推進力として情報技術を活用し、人材を育成したり、幅広い知識を作ったりする必要があります。それに関連して政府や各省庁が打ち出した様々な政策がいくつか見られます。

それにより、デジタル化による変化に対応するために、タイ政府はデジタルエコノミー社会開発プランに基づき、タイの経済・社会及び政府全体をデジタル技術で変革し、国民の生活が豊かで安定した国への成長を目指す「20カ年国家戦略」を発表しました。同じく、タイ国会はデジタル変革を意識しており、国家戦略に沿った「デジタル国会開発5カ年計画（2018-2022年度）」を国会の情報技術開発方針・枠組みとして作成しました。毎年度の予算を国会議員の秘書としての衆議院事務局及び参議院事務局に配分し、デジタルインフラ及び情報システムの整備・管理などを担当する部署を通して、本計画を実行し、より効果的にデジタルに関する実行結果をモニターリングかつ評価したり、サポートしたりすることができることを期待しています。

「デジタル国会開発5カ年計画（2018-2022年度）」は国会におけるデジタル技術の活用ガイドラインとなります。概要は下記の通りであります。

1. ビジョン：「デジタル国会の実現を」

立法を実務面でサポートするためのインフラ・イノベーション・データ・人的資本・関係資源などの開発において、デジタル技術を効果的に活用し、創意工夫を凝らすことを目指します。

2. 戦略とその戦術：

戦略1： デジタル国会の実現に向けてデータベースのシステム開発及び統合を行います。その戦術は2つあります。

1.1 効果的なサービスのために、国会内で統合・流通可能な情報・データベースシステムを開発します。

1.2 サービス利用者・市民ニーズへの対応を図り、定期的に更新された正確な情報サービスシステムを開発します。

目標：

1.1 より効果的なサービスのために、国会内の情報・データベースシステムは統合・流通が可能となります。

1.2 サービス利用者・市民に対し、ニーズに合致した国会情報を適切なタイミングで迅速かつ正確に提供することが可能となります。

戦略 2：国際基準に沿った ICT（情報通信技術）インフラ・安全保障管理システムの開発を行います。その戦術は 2 つあります。

2.1 国会の ICT インフラ開発を行います。

2.2 市民に対する徹底的かつ平等なサービスの提供ができるように国際基準を満たした国会の ICT 安全保障管理システムを開発します。

目標：

国会の ICT インフラ・安全保障管理システムは国際基準を満たし、より効果的かつ安全となります。

戦略 3：国会議員・職員の ICT に関する知識を持つようにさせ、事務執行における創造的な活用を促進します。その戦術は 3 つあります。

3.1 国会職員の ICT に関する能力を高めます。

3.2 国会議員・職員の創造的活用の促進・支援を行います。

3.3 サービス利用者・市民ニーズに応えるために、職員のイノベーション及び技術に関する教育・研究・開発の促進及び支援を行います。

目標：

国会議員・職員が ICT に関する知識を持ち、事務執行における創造的活用ができるようになります。